

！ 安全に関するご注意

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「▲警告」として記載しています。安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

！ 警告

- 安全な作業をすすめるためには、作業場所は常にきれいに整理をし、十分な採光が必要です。散らかした作業場所は事故のもとです。
- お子様の手の届かない所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光のあたる所は避けてください。
- 商品の運送上の衝撃等により、商品が破損したり、取付部品が外れたり、曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して正規の状態でご使用くださいますよう、お願いいたします。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気づいた時には直ちに使用を中止してください。
- ご使用前には、本体各部のネジ類がしっかり締め付けられているか確認してください。
- 製品は、大事に扱ってください。誤って落としたり、ぶついたりした場合は、異常の有無を確認してください。
- 騒音値は1m四方平均値です。
- 湿った場所、濡れた場所での使用は避けてください。感電事故の原因になり、モーター絶縁を低下させます。
- 必ずアース(接地)してください。(二重絶縁構造品は除く)
- 揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くでは、絶対に使用しないでください。危険です。
- 電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。
- 運転中は、機械の可動部には絶対に手を触れないでください。大変に危険です。
- 安全にご使用いただくために、使用後は必ず手入れ等のメンテナンスを行ってください。
- お手入れのときや使用時に水につけたり、水をかけたりしないでください。感電、火災の恐れがあります。
- 電源コードは、破損させたり、加工や途中での接続、他の電気器具とタコ足配線などしないでください。火災の原因になります。
- 自分で分解、改造、修理をしないでください。火災、感電、ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご使用にならないとき・清掃・点検のときは、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。濡れた手で抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。確実にないと、使用中に外れたりして、事故やケガの原因となる恐れがあります。
- 急激な温度変化を与えると結露が生じ故障、誤動作の原因となります。結露が生じたときは、室内に置き、自然乾燥させてから電源を入れてご使用ください。

- スポットヒーター・赤外線ヒーター(業務用油だき可搬形ヒーター)は業務用です。家庭用として使用しないでください。使用中は、必ず定期的に換気を行い、新鮮な空気を補給してください。一酸化炭素中毒による死亡事故につながり、大変危険です。

！ 【スポットヒーター】ご使用上の注意

- 【▲警告】
- スプレー缶等の密閉容器を過熱しないでください。また、熱の当たるところにスプレー缶等の密閉容器を置かないでください。
- 可燃性粉塵(紙くずや木くず、繊維くず等)が発生する場所では使用しないでください。
- 空気取り入れ口や吹出口をふさがないでください。
- 燃焼中や消火後約30分は吹出し口周辺は高温になっていますので触れないよう注意してください。
- 使用中は必ず定期的に換気を行い新鮮な空気を補給してください。
- 可燃性のガスを発生するものを使っている場所や置いてある場所では、ヒーターを絶対に使用しないでください。
- 給油は必ず消火して行ってください。また、消火後しばらくの間は高温になっていますので、手や給油ポンプが接触しないよう注意してください。
- 点火操作を3回繰り返して行っても着火しない時は、それ以上繰り返しての点火行為は行わないでください。
- 分解・改造は絶対にしないでください。故障・火災の原因になり大変危険です。
- 【▲注意】
- 燃焼中は、火災防止のため、スポットヒーターの近くに物を置かないでください。スポットヒーターの吹出し口前方3m以上(KH-30Dは2.5m以上)、空気取入口後方1.5m以上、上方向2m以上、左右1.5m以上の空間を維持してください。
- 雨・水・雪等のかかるところ、湿度の高いところでは使用しないでください。また濡れた手で操作しないでください。
- ヒーターを使用するときは、床面が高温にならないように注意してください。
- 移動する際は、必ず火を消した状態で移動してください。
- 車に積んで運ぶ場合は、灯油タンクに入っている灯油を給油ポンプ等で抜いてください。灯油を抜かないと輸送時の振動等で灯油が漏れ出すおそれがあります。

- 点検・お手入れの際は必ずスイッチを切り、差込プラグを抜いて行ってください。
- 長期間使用しないときまたは、修理依頼・保管・廃棄の場合は、必ずタンクの灯油を空にしてください。
- 変質灯油(ひと夏持ち越しの灯油や、保管状態が適切に行われていない灯油)不純灯油(水やオイル等灯油以外のものが混入)の使用はおやめください。機器の故障や異常燃焼、不完全燃焼の原因になります。※シーズン終了後、必ず灯油を抜いてタンク内を空にしてください。
- ヒーター使用時は、周囲温度は各商品が指定する範囲内でご使用ください。高温の環境下で使用されますと、ヒーターが加熱され、故障・火災の原因となります。

！ 【赤外線ヒーター】ご使用上の注意

- 【▲警告】
- 可燃性のガスを発生するもの(シンナー・ガソリン・LPG)を使っている場所や、置いてある場所ではヒーターを絶対に使用しないでください。引火して爆発事故や火災を引き起こすおそれがあります。
- スプレー缶等の密閉容器を加熱しないでください。また、熱の当たるところにスプレー缶等を置かないでください。スプレー缶等が爆発し、ケガをする原因となります。
- ヒーターを使用している場所で、スプレー缶製品を使用しないでください。スプレー缶に使用されているガスには引火性のものがあり、火災・爆発の危険性があります。また、スプレー製品の粒子により、不完全燃焼を招く危険性があります。
- 可燃性粉塵(紙くずや木くず、繊維くず等)が発生する場所では使用しないでください。ヒーター内にそれらが吸い込まれると加熱され、火の粉となって吐き出され火災・やけどの原因になり危険です。
- 改造は絶対にしないでください。故障・火災の原因になり大変危険です。
- 点火操作を3回繰り返して行っても着火しない時は、それ以上繰り返しての点火行為は行わないでください。
- 【▲注意】
- 燃焼中は火災防止のため、ヒーターの近くに物を置かないでください。ヒーターの放熱部前方2.5m以上、空気取入口後方1.5m以上、上方向2m以上、左右1.5m以上の空間を維持してください。